



## 阿見町「道の駅」基本構想概要

阿見町では、町内工業団地への企業立地、アウトレットの開業による来町者の増大といった町の発展を好機と捉え、地域資源の活用、来町者の周遊、町の魅力発信を推し進め、町内の産業振興を図るため、道の駅の整備を推進しています。

### ■ 検討の経過

H22 年度	役場内で検討を開始。基礎調査を実施
H23 年度	関係団体の実務者を交えた準備検討委員会を6回開催。アイデアや意見を聴取
H24 年度	関係団体の代表者等から成る整備推進会議を4回開催。基本構想を策定

### ■ 道の駅の制度

道の駅は、休憩機能、情報発信機能、地域連携機能の3つを併せ持つ施設で、全国に1005箇所が登録されています。その多くは地域振興施設として地場産品を提供する直売所や飲食店が併設されています。要件を満たした施設を市町村が設置し、国土交通省に申請することで、「道の駅」として登録されます。

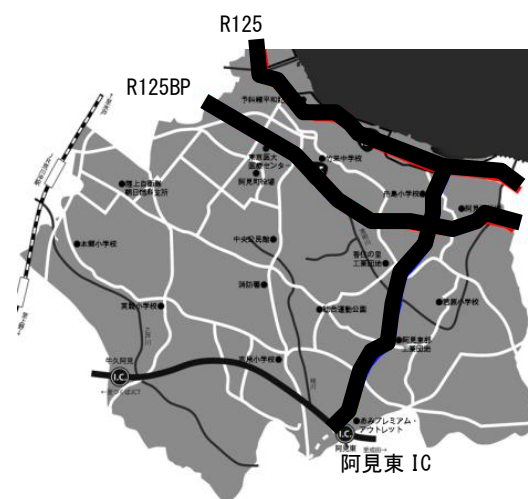
### ■ 導入機能

道の駅への導入が想定される施設として下記があげられます。最初から「あれもこれも」備えるのではなく、ニーズに応じて拡大していくことを視野に入れています。

- ▼ 駐車場・トイレ等の休憩機能
- ▼ 観光 PR 機能
- ▼ 地場産の農作物、特産品、飲食物の提供機能
- ▼ その他の地域振興機能

### ■ 立地場所

交通量の多い道路沿いであること、一定規模の用地が見込めることなどから、阿見東インターチェンジから霞ヶ浦湖岸へつながる路線、または国道125号線・国道125号線バイパスの沿線から候補地を検討しています。今後、事業性、実現性などの観点から、立地場所を選定することとなります。



### ■ 運営体制

まず、町内をあげての協力協調体制の構築に努めます。また、経営上の観点から総合的にプロデュースできる人材の登用も検討します。